



令和8年度 所沢市立美原中学校グランドデザイン



- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学習指導要領 等

所沢市教育振興基本計画
所沢市教育行政推進施策
所沢市の教育の基本理念
○心身のたくましさ
○未来を拓く知恵
○ふるさと所沢を愛する心

学校教育目標（3つの目標と学年ごとの重点）

○進んで学ぶ生徒

- ・1年 あいさつ、挙手、発言、グループワークなど、授業規律が守れる生徒
- ・2年 主体的に授業に臨み、目標の実現に向けて家庭学習に励む生徒
- ・3年 学びにおいて自分で考え、判断する生徒
- ・8組 自発的・主体的に取り組める生徒

○心豊かな生徒

- ・1年 仲間の良さを認め合える生徒
- ・2年 自他を尊重し、互いを認め合いながらよりよい学校生活を実現しようとする生徒
- ・3年 習慣となるよう清掃をひたむきに最後まで行える生徒
- ・8組 仲間と協力して取り組める生徒

○たくましい生徒

- ・1年 意欲的に学校生活を送れる生徒
- ・2年 心身ともに健康で、明るく前向きな考え方をもつ生徒
- ・3年 人の痛みを感じとり、困難に対しても乗り越えられる心と体力を身につける生徒
- ・8組 何事にもチャレンジして取り組める生徒

基本理念：「はじめに子どもありき」

『子どもの学習および教育は、常に、その子どもが今何を考え、感じ、求め、困っているか等々の事実を出発点として、絶えずそこへ立ち返らなければならない。進むべき方向もそこから考えることになる。すなわち、「はじめに子どもありき」でなければならないのである。』（平野朝久）

○学校は生徒のよさや可能性を伸ばすところ

○学校は安全で安心して学べるところ

子どもが「ワクワク」する授業

- 学ぶ必要性、楽しさが感じられる授業
- 「答える人」でなく「問う人」を育てる授業
- 学びを通して互いに高め深め合える授業
- 評価は「子どもがどう学んでいたか」

心理的安全性の高い学校づくり

- 生徒指導の実践上の視点（自己存在感・共感的な人間関係・自己決定の場・安全・安心な学校風土）を踏まえた学校、学年、学級づくり
- 生徒の自治的能力の育成（生徒会・いじめ防止など）
- 特別支援教育（インクルーシブ教育）の充実

「信頼される大人」としての教職員

- 子どもに寄り添い、耳を傾ける
- 「謙虚な自信と誇り」をもち、学び続ける
- 感謝、応援しながら協働できる
- 教師である前に「人」として成長する働き方

地域みんなで育て、

みんなが育つ学校

- 美原中学校 PTA
- 美原中学校後援会
- 学校運営協議会
- 小中連携推進委員会
美原小・伸栄小・中央小
- しんとこイーストネット
- 各自治会・町内会・町会
- 各関係機関

経営方針 全教職員の「誠意・創意・熱意」を結集した
『未来を切り拓く生徒の育成』

目指す学校像

『本気の笑顔を経験できる美原中学校』

生徒にとって「生き生きと学び、活動し、安心して通える学校」

教職員にとって「互いの持ち味を大切に、協働と感謝のある学校」

保護者にとって「子どもの成長が見え、信頼できる学校」

地域にとって「地域みんなで育て、みんなが育つ学校」